

実施概要

(仮称)大島九丁目公園は、江東区初の「区民と共にゼロからつくり上げる公園」となります。今年度は、令和6年の竣工に向けて、全4回のワークショップを開催し、区民のみなさんと一緒にどのような公園をつくるかを検討し、「基本計画」としてまとめました。本ワークショップに参加された皆さんには、公園整備後の一番の使い手となっていただきたいという思いから、皆さんに自分がこの公園を「どのように使いたいか」「どのように過ごしてみたいか」から考えていただきました。そして、昨今の柔軟な公園や広場の使い方なども踏まえ、そのために必要な空間の在り方、施設・設備、ルール・運営管理などを、現地でのワークショップも交え、新たな公園を作り上げることを目指しました。

対象地概要



場所：東京都江東区大島9-6

面積：0.96ha (9,613㎡)

事業スケジュール：

令和3年度 基本計画策定(ワークショップ)

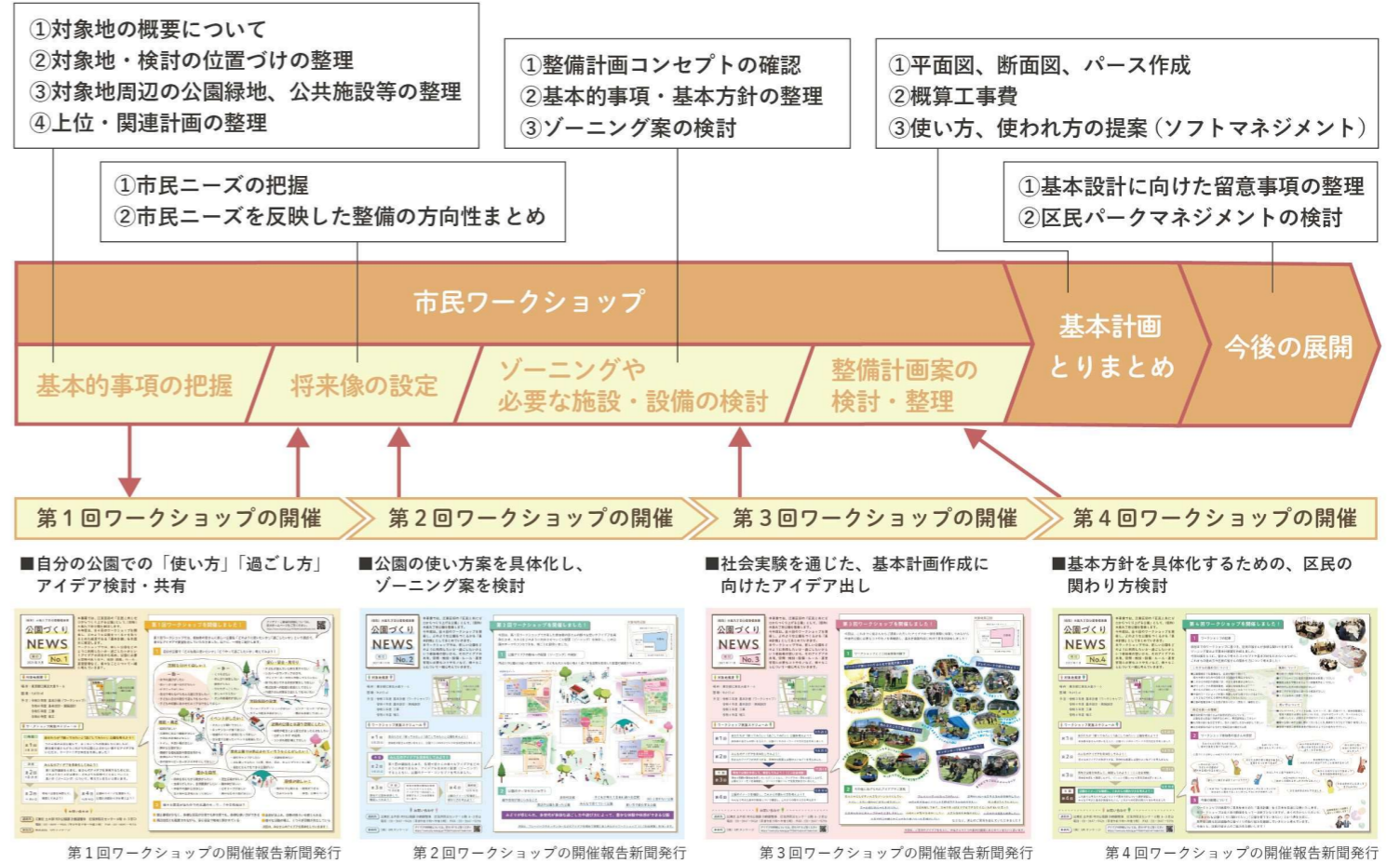
令和4年度 基本設計・実施設計策定

令和5年度 工事

令和6年度 竣工・開園

備考：対象地西側の表層から地下1.5m~2.0mより深い場所に六価クロム鉱さいが封じ込められたコンクリート製の処理層があるため、杭基礎が必要な建物や荷重の大きい施設は設置不可能となっている。

基本計画(案)策定に向けた流れ



ワークショップ(全4回)の開催

※参加者：20代~80代の男女30名(子ども含まず)

第1回

8月28日(土)
9:30~11:30

自分達が“使ってみよう”“過ごしてみよう”公園を考えよう!

参加者の皆さんからこれからの公園にふさわしい様々なアイデアをいただき、公園づくりのキーワードや方向性を共有しました。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下のため、オンラインによる開催となりました

第2回

9月25日(土)
9:30~11:30

アイデアを具体化してみよう!

第1回の議論を踏まえ、各班で皆さんの様々なアイデアをどのように共存できるか、アイデアを具体的に配置(ゾーニング)するとともに、公園のテーマ・コンセプトを考えました。

第3回

11月6日(土)
9:30~12:00

現地で公園を体感して、確認してみよう!(ミニ社会実験)

現地で実際の敷地を体感していただくとともに、アイデアの一部をお試ししながら、必要なコト・モノを再確認し、ゾーニング案について意見交換を行いました。



第4回

12月18日(土)
9:30~11:30

公園のイメージを確認し、これからの関わり方を考えよう!

これまで考えてきたコンセプトや基本方針について最終確認し、みんなで考えた基本計画案をもとに、これからの区民の関わり方を考えました。



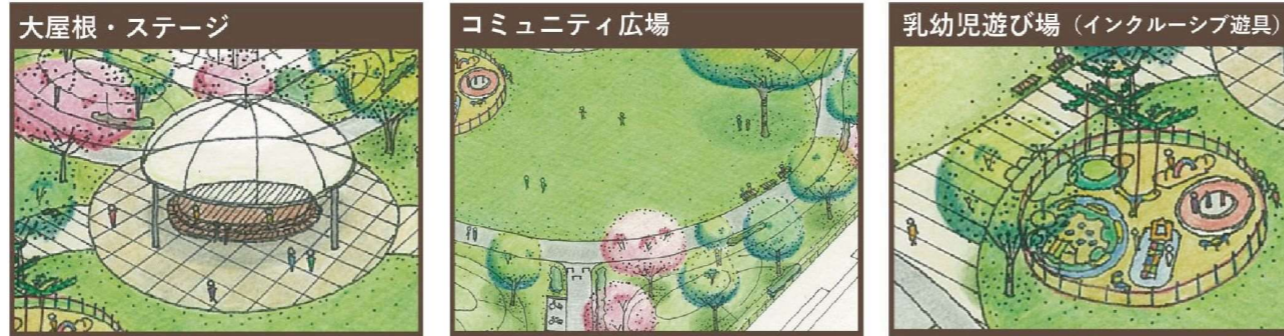
コンセプト

みどりが感じられ、
多世代が多様な過ごし方や遊び方によって、
豊かな体験や体感ができる公園

基本計画(案)と空間イメージ

- 全体** 周辺からの見通しを確保しつつも、自然やみどり(樹木)が感じられる空間を基調
- 構成** 区民の皆さんが主体的に活動でき、今後の関わりを考慮し、シンプルな3つの空間を確保
- 動線** 周辺のどこからでも入りやすく、公園内を回遊できる動線を確保
- 施設** 基本的な施設として、以下の施設を想定(今後の検討により変更予定あり)
 - 憩いの場やステージ、体験の場を兼ねた大屋根施設を中央に配置
 - 乳幼児の遊び場やインクルーシブに配慮した遊具施設、ボール遊びのできる原っぱ、健康器具、各所にベンチ等の座り場、様々な遊びの道具を収納する倉庫、トイレ、子ども向け水場施設等

コミュニティゾーン



多目的原っぱゾーン

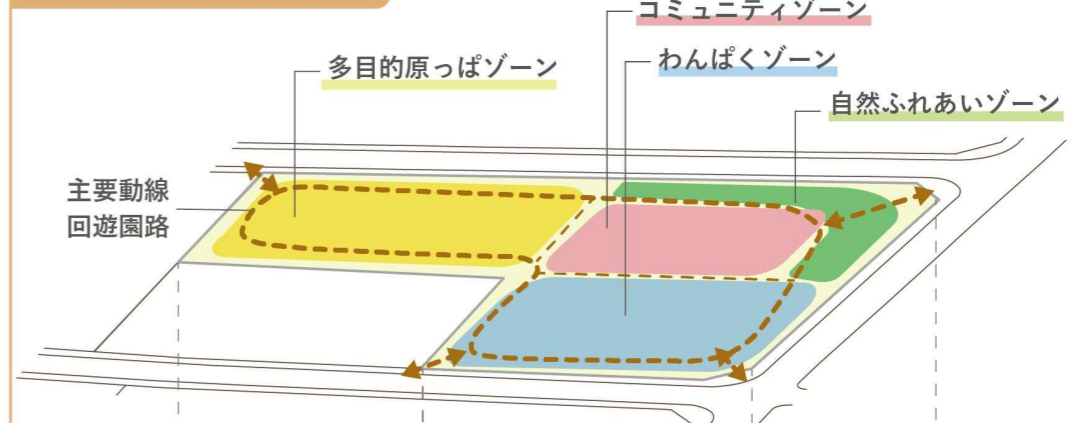


わんぱくゾーン

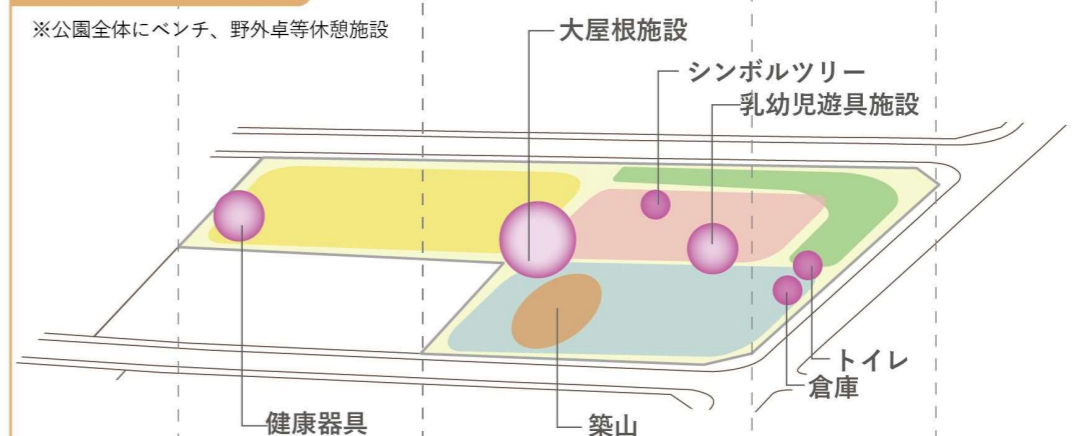


ゾーニング案

基本ゾーニングと主要動線



基本的な主要施設等



区民や民間の関わりによって多様な活用が期待できる場や施設

